研究報告

中級ドイツ語教科書における頻度表の有効性

黒 田 廉

富山大学人文科学研究第 81 号抜刷

2024年8月

中級ドイツ語教科書における頻度表の有効性*

黒田 廉

1. はじめに

黒田(2016)では、辞書の重要語指定に頻度を導入する際の問題を検討した。その中では、辞書にある高重要度語と頻度表にある上位語を直接比較し、学習の初期段階で使うには頻度表は適当でないと考えられることについても述べた¹⁾。

では、初期段階を終えつつある学習者にとってはどうであろうか。一定の語彙を学んだ学習者がさらに語彙を拡大していく際、頻度表は有効なのであろうか。また学習者が実際に使用するテキストにおいて、頻度表の語彙はよく出現するのであろうか。従来の辞書の重要語彙と比較してどうなのであろうか。

本研究は、中級レベル、より具体的にはCEFR B1レベルを目指す日本人学習者用の語彙リストを作成することを目標に、頻度表の有効性について検証するものである。頻度表の有効性を、辞書の重要語彙の場合とともに、ドイツ語教科書でのカバー率の観点からはかる。以下の点について明らかにする。

1. 頻度表のカバー率と辞書の重要語彙のカバー率
2. 頻度表と辞書の重要語彙とでカバーする語彙が重なる程度、および一方のリストのみがカバーする語彙にみられる特徴。

2. 使用する頻度表、辞書の重要語リスト、テキスト

頻度表は、Tschirner/Möhring(2020)を用いた(以下、「TM」)。TMは黒田(2016)でも扱ったJones/Tschirner(2006)(以下、「JT」)の改訂版である。JTは、約420万語と小規模ではあるが、話し言葉(Spoken language)、文学(Literature)、新聞(Newspaper)、教育(Academic)等、テキストの分野のバランスによく配慮されたコーパス²⁾を基盤としている点を特徴としていた。TMでは、分野のバランスはほぼそのままに、テキストが追加され、サイズが約2,000

* 本研究は科学研究費補助金(課題番号17K02923)の助成を受けている。

1) 学習初期に頻度表を使用することの問題については、他にも今道(2009)、岩崎(2012)、大藪(2014、2015)に指摘がある。頻度上位語には機能語が多く内容語が乏しい、抽象的・書き言葉的な語が多く具体的・日常的な語が乏しい、語が体系的に取り扱われない等の問題がある。

2) The Leipzig/BYU Corpus of Contemporary German

万語以上と大幅に拡大したコーパス³⁾を使用している。

頻度表と比較する辞書の重要語リストとしては、黒田（2016）でも使用した辞書のうち『アポロン独和辞典』第3版（以下、『アポロン』）と『ドイツ語ポケット辞典』改訂版（以下、『ポケット』）を用いた。理由としては、まず、どちらも重要語選定に頻度表を利用していないとみられることがある⁴⁾。『アポロン』については、加えて、重要語数がTMの語数と近い5,400で、リスト全体と比較するのに好都合であることから選んだ。『ポケット』については、初級中心に2,000語程度までを一区切りとして重要語指定する辞書が多い中では⁵⁾、約2600語と比較的多数の語を選んでいることによる。辞書は重要語の学習レベルをあまり明らかにしていないが、『ポケット』はドイツ語技能検定試験の3～5級相当としており、初級の最終段階までを想定していることもわかる。

対象とする教科書は、以下の成人学習者用の8冊である。各教科書の最後に本稿での略称を記す。

Berliner Platz 3 NEU. Deutsch im Alltag. Ernst Klett Sprachen. 2017.	[Berliner Platz]
DaF kompakt neu B1. Ernst Klett Sprachen. 2016.	[DaF]
Menschen. Deutsch als Fremdsprache. B1.1. Hueber Verlag. 2014.	[Menschen]
Menschen. Deutsch als Fremdsprache. B1.2. Hueber Verlag. 2014.	[Menschen]
Motive. Kompaktkurs DaF. Hueber Verlag. 2016.	[Motive]
Passwort Deutsch 5. Ernst Klett Sprachen. 2014.	[Passwort]
Schritte International neu 5. Niveau B1/1. Hueber Verlag. 2018.	[Schritte]
Schritte International neu 6. Niveau B1/2. Hueber Verlag. 2018.	[Schritte]

以上の教科書のうち、Passwort, DaF, Berliner Platzの3つは、本来の教科書部分（Kursbuch）に練習帳部分（ÜbungsbuchあるいはArbeitsbuch）が加えられている。前者のみを対象とし、後者は扱わなかった。MenschenおよびSchritteは2巻構成であり、各巻のテキストをあわせて1つとした。したがって、テキストは全6種類である。教科書には、学習対象となる文章、表

3) The New Leipzig Corpus of Contemporary German

4) 重要語の選定について頻度表に言及しておらず、参考文献にも頻度表は載っていない。黒田（2016）の調査でも、頻度表との類似はとくにみられなかった。ただし、『アポロン』は最新の第4版では参考文献にTM, JTを記載しており、「まえがき」にも「新たな資料を追加することにより、見出し語の重要度をより厳密に評価しました」とあることから、これらを重要語選定に利用していると考えられる。また、重要語には新たにCEFRのA1からB1までのレベルも示された。

5) 辞書の重要語指定の状況については、黒田（2016）参照。

現以外にも、目次、付録、図版中の語、ページ数、記号等様々な要素が含まれているが、以下はテキストから除外した。

- ・目次
- ・付録
- ・図版中の語
- ・記号、ページ番号
- ・人名、国名などの固有名詞およびその固有名詞から派生した形容詞

3. 比較のための準備作業

3.1. 見出し語の統一

語彙リストを正確に比較するのは難しい。1つには、リストによってランク付けのしかたが異なるためである。TM および JT では個々の語に順位付けされているが、辞書では語のグループにランク付けされている。ランクの構成もまちまちであり、語数を調整しにくい。TM と『アポロン』を比較する際は、後者の方が 200 語多かったが、語数はそろえずそのままとした。TM と『ポケット』あるいは JT を比較する場合は、語数の一番多い TM の語を下位から削って『ポケット』あるいは JT の数にあわせた。

語彙リストの正確な比較が難しい理由のもう 1 つは、見出し語（レマ）のたて方が異なることである。リストによって、ある語が一つの見出し語のこともあれば、複数の見出し語に対応することもある。見出し語の語形が異なることもある。そのため、黒田（2016）でも用いた基準により、見出し語を統一した。

本稿での頻度表あるいは辞書の重要語の語数は、公表されている数と異なる。見出し語を統一したこと、テキストから固有名詞および固有名詞派生の形容詞を除いたことにあわせ、頻度表および重要語リストからもこれらを省いたことによる。

頻度表、辞書の重要語、テキストは、紙媒体から OCR または手作業で電子ファイル化した。見出し語の統一、テキストの使用語彙のリスト化、各語彙リストの違いの抽出には、岐阜協立大学名誉教授山田善久氏作成のコーパス・ツール Tecely 1.453⁶⁾ を用いた。

3.2. テキストの異なり語数、のべ語数

各テキストの異なり語数、のべ語数は表 1 の通りである。異なり語数が少ないテキストから順に左から右へと配列してある。

6) かつては Web 公開されていたが、現在は非公開である。

表1：テキストの異なり語数、のべ語数

	Motive	Berliner Platz	Schritte	DaF	Menschen	Passwort
異なり語数	3,661	3,828	3,851	4,084	4,396	5,044
のべ語数	36,332	36,019	45,718	34,249	42,273	45,048

異なり語数は、最少の Motive が 3,661 語、最多の Passwort が 5,044 語で、後者は前者の約 1.4 倍になる。のべ語数の方は、最小の DaF が 34,249 語で、最大の Schritte が 45,718 語であり、後者は前者の 1.3 倍ぐらいの分量である。

異なり語数が多くなれば、それに比例してのべ語数も多くなる訳ではない。異なり語数最多の Passwort はのべ語数も 2 番目に多いが、DaF のように異なり語数は多い方でも、のべ語数は最少のこともある。DaF では一語当たりの平均頻度が約 8.4 語で低く、テキストの分量の割には多様な語が使用されていると言えよう。逆に、Schritte は異なり語数はやや少なく下から 3 番目であるが、のべ語数は最多である。一語当たりの平均頻度が約 11.9 語と高く、語の反復使用が多いようである。

4. 語彙リストのカバー率

4.1. TM と『アポロン』

各テキストについて、TM、『アポロン』の重要語リストそれぞれと一致する語の数およびその割合（「カバー率」）を表2に示す。異なり語数およびのべ語数の両方で算出してある。2つのリストで高い方の数値を太字とした。TMの語数は4,892語、『アポロン』の語数は5,092語での比較である。

表2：TM、『アポロン』のカバー率

Motive		TM	アポロン	Berliner Platz		TM	アポロン	Schritte		TM	アポロン
異なり語数	一致数	2,098	2,169	異なり語数	一致数	2,055	2,057	異なり語数	一致数	2,187	2163
3,661	カバー率(%)	57.31	59.25	3,828	カバー率(%)	53.68	53.74	3,851	カバー率(%)	56.79	56.17
のべ語数	一致数	32,814	32,837	のべ語数	一致数	32,806	32,798	のべ語数	一致数	42,397	42,347
36,332	カバー率(%)	90.32	90.38	36,019	カバー率(%)	91.08	91.06	45,718	カバー率(%)	92.74	92.63
DaF		TM	アポロン	Menschen		TM	アポロン	Passwort		TM	アポロン
異なり語数	一致数	2,135	2,020	異なり語数	一致数	2,303	2,318	異なり語数	一致数	2,476	2,529
4,084	カバー率(%)	52.28	49.46	4,396	カバー率(%)	52.39	52.73	5,044	カバー率(%)	49.09	50.14
のべ語数	一致数	29,839	29,357	のべ語数	一致数	37,987	38,061	のべ語数	一致数	40,236	40,179
34,249	カバー率(%)	87.12	85.72	42,273	カバー率(%)	89.86	90.04	45,048	カバー率(%)	89.32	89.19

異なり語数では、語数が少ないほどカバー率は高く、語数が多いほどカバー率は低い傾向にある。異なり語数最少の Motive はカバー率では最高となり、2つのリストそれぞれが6割近い数値を示

す。最多の Passwort はカバー率では最低で、5 割前後である。ただし、Schritte は語数のやや少ない Berliner Platz よりもカバー率は高く、DaF は語数が 300 以上多い Menschen よりもカバー率は低い。2 リストの数値を比較すると、TM は Schritte と DaF を除けば、『アポロン』よりやや低い。DaF については、TM は『アポロン』にカバー率で 2.8 ポイント差、語数で 482 語と TM と『アポロン』の 2 リスト間では最大の差を付けている。TM の語彙は DaF の出現語彙とよくマッチするようである。

のべ語数のカバー率は、分量に比して語が多様な DaF がもっとも低く、8 割 5 分強である。逆に語の反復使用が多い Schritte が最高となり、9 割強である。Nation(2001)によると、テキストを読みこなすためには出現する語彙の 95% を知っている必要があるとのことであるが、TM も『アポロン』も、テキストすべてでこの数値には届かず、不十分であることになる⁷⁾。2 リストを比べると、異なり語数の場合とは違って、Motive, Menschen の 2 テキストを除き、TM の方が『アポロン』より数値がわずかながら高い。TM は、やはり頻度面では『アポロン』より優れているのかもしれない。とくに DaF で差が大きく、カバー率で 1.4 ポイント、語数で 482 語の差になる⁸⁾。DaF には TM にある高頻度語がよく使われているようである。

4.2. TM と『ポケット』

次に TM と『ポケット』の比較である。TM の語数は『ポケット』の語数 2,597 にあわせた。各テキストについて、一致する語数とカバー率は表 3 の通りである。

表 3：TM, 『ポケット』のカバー率

Motive			TM	ポケット	Berliner Platz			TM	ポケット	Schritte			TM	ポケット
異なり語数	一致数	1,595	1,772	異なり語数	一致数	1,601	1,645	異なり語数	一致数	1,656	1,715			
3,661	カバー率(%)	43.57	48.40	3,828	カバー率(%)	41.82	42.97	3,851	カバー率(%)	43.00	44.53			
のべ語数	一致数	31,284	31,691	のべ語数	一致数	31,532	31,755	のべ語数	一致数	40,742	40,935			
36,332	カバー率(%)	86.11	87.23	36,019	カバー率(%)	87.54	88.16	45,718	カバー率(%)	89.12	89.54			
DaF			TM	ポケット	Menschen			TM	ポケット	Passwort			TM	ポケット
異なり語数	一致数	1,601	1,516	異なり語数	一致数	1,699	1,815	異なり語数	一致数	1,780	1,888			
4,084	カバー率(%)	39.20	37.12	4,396	カバー率(%)	38.65	41.29	5,044	カバー率(%)	35.29	37.43			
のべ語数	一致数	28,242	27,835	のべ語数	一致数	36,287	36,452	のべ語数	一致数	38,237	38,598			
34,249	カバー率(%)	82.46	81.27	42,273	カバー率(%)	85.84	86.23	45,048	カバー率(%)	84.88	85.68			

異なり語数でのカバー率は、やはり基本的には語数が少ないほど高く、語数最少の Motive

7) ただし、TM のカバー率について、Tschirner (2019) は平均的テキストの 84 ~ 95% の語を含んでいるとしている。本稿のテキストでも実際にこの数値を達成していることが確認できる。

8) TM と『アポロン』の 2 リスト間では最大。

が最高で、おおよそ4割半ば近くあるいは後半、語数最多の Passwort が最低で、3割5分超である。リストによる違いについては、TMが『ポケット』を上回るのは DaF だけで、他のテキストでは常に『ポケット』より低い。『アポロン』との場合よりも、リスト間の数値差は概して大きく、最大となる Motive では割合で4.8ポイント、語数で177語にもなる。

のべ語数のカバー率は、最低の DaF で8割強、最高の Schritte で9割近くである。TMはここでも『ポケット』より数値が悪く、良いのは異なり語数の場合と同様 DaF の場合のみである。

4.3. TM と JT

最後に TM とその初版である JT の比較を行う。語数は数が少ない JT の4,029語にあわせてある。各テキストでの一致率とカバー率は表4のとおりとなる。

表4：TM, JT のカバー率

Motive		TM	JT	Berliner Platz		TM	JT	Schritte		TM	JT
異なり語数	一致数	1,955	1,967	異なり語数	一致数	1,916	1,921	異なり語数	一致数	2,046	2,046
3,661	カバー率(%)	53.40	53.73	3,828	カバー率(%)	50.05	50.18	3,851	カバー率(%)	53.13	53.13
のべ語数	一致数	32,423	32,391	のべ語数	一致数	32,457	32,482	のべ語数	一致数	41,975	41,968
36,332	カバー率(%)	89.24	89.15	36,019	カバー率(%)	90.11	90.18	45,718	カバー率(%)	91.81	91.80
DaF		TM	JT	Menschen		TM	JT	Passwort		TM	JT
異なり語数	一致数	1,989	2,008	異なり語数	一致数	2,123	2,139	異なり語数	一致数	2,266	2,288
4,084	カバー率(%)	48.70	49.17	4,396	カバー率(%)	48.29	48.66	5,044	カバー率(%)	44.92	45.36
のべ語数	一致数	29,410	29,405	のべ語数	一致数	37,534	37,540	のべ語数	一致数	39,675	39,657
34,249	カバー率(%)	85.87	85.86	42,273	カバー率(%)	88.79	88.80	45,048	カバー率(%)	88.07	88.03

異なり語数でのカバー率は、テキストにより異なるが、おおよそ4割5分～5割強である。2リスト間の数値の違いについては、Schritte で同値となる他は、どちらかと言えば、JTの方がTMより良い。

のべ語数のカバー率は約8割5分強～9割強である。のべ語数では、異なり語数の場合とは逆に、TMの方が、Berliner Platz および Menschen を除く4テキストでJTの数値をやや上回る。

異なり語数の場合ものべ語数の場合も、TMとJTでは、2リスト間の数値差は総じてわずかである。TMではJTの時よりもコーパス・サイズがはるかに拡大し、語の順位もかなり入れ替わり⁹⁾、改訂により大きく変わったという印象を受ける。しかしながら、本稿で扱ったテキストのカバー率という点では大きな変化はみられなかった。

9) JTの場合と比べて、1,000以上の差があることもある。

4. 4. 頻度表と辞書の重要語のカバー率

以上、TMのカバー率を辞書あるいはJTと比較しながら、みてきた。『アポロン』との比較において、TMは異なり語数で『アポロン』に多少劣ることがあり、のべ語数では『アポロン』を上回ることがやや多かった。『ポケット』との比較では、異なり語数とのべ語数の両方ではほとんどの場合、低い数値であった。

頻度表は頻度という明確な客観的基準でつくられたリストであるのに対し、従来のリストは選定基準があまり明確でなく主観的との批判がなされることがある¹⁰⁾。しかしながら、本稿で対象としたテキストに関する限り、頻度表は一概に良好な成績を示す訳ではなく、辞書の重要語リストの方も悪くない、場合によってはむしろ良い成績である。

新旧両頻度表の比較については、両者の差はわずかであるが、異なり語数では初版のJTが改訂版のTMと同等以上の成績を示し、のべ語数ではTMの方がやや高い数値のことが多い。

5. カバーする語彙の違い

頻度表と辞書の重要語リストでカバー率の違いをみてきたが、カバー率は両者で極端に大きく異なる訳ではない。差が開いている場合でも、5%未満である。ただ、各リストのカバーする語彙がおおよそ重なるのであればいいが、ズレが大きい場合は、結局は双方にある語彙を学ぶことになって学習上の負担が増える。ここでは、TM、重要語リストそれぞれがカバーする語彙のうち共通する語彙の割合、どちらか一方にのみある語彙の割合を示す。一方にのみある語彙については一部実例も挙げ、比較する。TMと『アポロン』の場合、TMと『ポケット』の場合について述べる。

5.1. TMと『アポロン』

TM、『アポロン』それぞれがカバーする語彙のうち、両者で共通する語彙、一方にしかない語彙の割合は表5の通りとなる。比較のため、参考として4.3.のTMとJTの場合の数値も表6に挙げた。

10) たとえば、Tschirmer(2005)、今道(2009)。

表 5：TM, 『アポロン』 がカバーする語彙のうち共通する語彙の割合

Motive			TM	アポロン	Berliner Platz			TM	アポロン	Schritte			TM	アポロン
リストのレマ数			4,892	5,092	リストのレマ数			4,892	5,092	リストのレマ数			4,892	5,092
異なり語数 3,661	一致数		2,098	2,169	異なり語数 3,828	一致数		2,055	2,057	異なり語数 3,851	一致数		2,187	2,163
	共通数		1,877			共通数		1,789			共通数		1,902	
	割合		89.47	86.54		割合		87.06	86.97		割合		86.97	87.93
	一方のみ		221	291		一方のみ		266	267		一方のみ		285	260
	割合		10.53	13.42		割合		12.94	12.98		割合		13.03	12.02
DaF			TM	アポロン	Menschen			TM	アポロン	Passwort			TM	アポロン
リストのレマ数			4,892	5,092	リストのレマ数			4,892	5,092	リストのレマ数			4,892	5,092
異なり語数 4,084	一致数		2,135	2,020	異なり語数 4,396	一致数		2,303	2,318	異なり語数 5,044	一致数		2,476	2,529
	共通数		1,789			共通数		1,974			共通数		2,138	
	割合		83.79	88.56		割合		85.71	85.16		割合		86.35	84.54
	一方のみ		356	241		一方のみ		329	343		一方のみ		338	390
	割合		16.67	11.93		割合		14.29	14.80		割合		13.65	15.42

表 6：TM, JT がカバーする語彙のうち共通する語彙の割合

Motive			TM	JT	Berliner Platz			TM	JT	Schritte			TM	JT
リストのレマ数			4,029		リストのレマ数			4,029		リストのレマ数			4,029	
異なり語数 3,661	一致数		1,955	1,967	異なり語数 3,828	一致数		1,915	1,921	異なり語数 3,851	一致数		2,046	2,046
	共通数		1,877			共通数		1,836			共通数		1,955	
	割合		96.01	95.42		割合		95.87	95.58		割合		95.55	95.55
	一方のみ		78	88		一方のみ		79	85		一方のみ		91	91
	割合		3.99	4.47		割合		4.13	4.42		割合		4.45	4.45
DaF			TM	JT	Menschen			TM	JT	Passwort			TM	JT
リストのレマ数			4,029		リストのレマ数			4,029		リストのレマ数			4,029	
異なり語数 4,084	一致数		1,989	2,008	異なり語数 4,396	一致数		2,123	2,139	異なり語数 5,044	一致数		2,266	2,288
	共通数		1,989			共通数		2,023			共通数		2,166	
	割合		100.00	99.05		割合		95.29	94.58		割合		95.59	94.67
	一方のみ		71	90		一方のみ		100	116		一方のみ		100	122
	割合		3.57	4.48		割合		4.71	5.42		割合		4.41	5.33

テキストにより異なるが、TMと『アポロン』それぞれがカバーする語彙のうち共通する語彙の割合は約84～89%になり、片方にしかない語彙の割合は11～17%である。カバーする語彙の大部分はどちらのリストにも存在する訳であるが、表6のTMとJTでの場合は、共通する語彙の割合は95～100%と極めて高く、一方にのみある語彙の割合は0～5%に過ぎない。頻度表間と比べると、辞書と頻度表ではカバーする語彙の違いは大きいことが分かる。

リスト1,2は、一方のリストのみがカバーする語の例である。リスト1はTMのみがカバーし、『アポロン』はカバーしない語、リスト2は『アポロン』のみがカバーし、TMはカバーしな

い語である。特定のテキストではなく、5つ以上のテキストに共通して存在する語を挙げた。

リスト1：TMのみがカバーし、『アポロン』はカバーしない語

<名詞>

Adjektiv, Aktivität, Alternative, Arbeitsplatz, Arbeitszeit, Architekt, Aussage, Besucher, Bundeskanzler, Dialekt, Engagement, Experte, Gemeinsamkeit, Gründung, Hang, Herausforderung, Kompromiss, Innenstadt, Mama, Medium, Musiker, Präsentation, Psychologe, Region, Reihenfolge, Rentner, Service, Sportart, Statistik, Stichwort, Team, Umfrage, Uni, Veranstaltung, Verb, Vermutung, Weltkrieg

<動詞>

ausprobieren, befragen, benötigen, engagieren, entspannen, erarbeiten, festlegen, formulieren, herausfinden, markieren, nachfragen, präsentieren, realisieren, überprüfen

<形容詞>

attraktiv, deutschsprachig, intensiv, kostenlos, leid, ökologisch, optimistisch, regional, sicherlich, sprachlich, super, unterschiedlich

<副詞>

dreimal, irgendwann, jeweils, weiterhin, zurzeit

<略語, 前置詞, 間投詞>

ca., Dr. mithilfe, oh

リスト2：『アポロン』はカバーし、TMはカバーしない語

<名詞>

Altenheim, Bekannte, Bewerbung, Brötchen, Essen, Formular, Führerschein, Gewürz, Grammatik, Heimweh, Leben, Lektion, Muttersprache, Panne, Pech, Pullover, Sprichwort, Stau, Stein, U-Bahn, Überschrift, Überstunde, Vertrauen, Wörterbuch, Waschmaschine, Wecker

<動詞>

aufräumen, besichtigen, duschen, fernsehen, frühstücken, leihen, mieten, umsteigen

<形容詞>

ängstlich, ärgerlich, entschieden, fantastisch, fertig, fleißig, gebraucht, heimlich, interessiert, lecker, verboten, verloren sparsam, telefonisch, überzeugt, unzufrieden

リスト1には、名詞の Adjektiv, Aktivität, Alternative, Aussage, Engagement, Gemeinsamkeit 等、動詞の benötigen, engagieren, entspannen, festlegen, formulieren 等、抽象的な事物あるいは行為を

表す語が多い。また略語 *ca., Dr.* はもっぱら書き言葉で使われる。頻度表上位語は抽象度が高い、書き言葉的であることがしばしば指摘されるが¹¹⁾、約 5,000 語のリスト同士の比較でも、このような傾向が認められる。書き言葉の一方で、*oh, super, Mama* のようなかなり口語的な語も混じっている。比較的新しい英語由来の外来語 *Service, Team* も見出される。「話す」「読む」「書く」いずれの場面でも通用する語を取り入れようとする重要語リストでは、これらの採用には慎重になると思われる。

リスト 2 には、名詞では *Brötchen, Führerschein, Gewürz, Pullover, Stein, U-Bahn, Waschmaschine* 等、動詞では *aufräumen, duschen, fernsehen, frühstücken* 等、具体的な事物あるいは行為を表す語、日常生活で身近なものあるいは日常的行為を表す語が多い¹²⁾。初級で必ず出てくるような *U-Bahn, fernsehen, umsteigen, fertig, fleißig* 等もあり、意外な語が TM に欠けていることがわかる。

なお、リスト 2 の形容詞中に、動詞の過去分詞でもある *entschieden, gebraucht, interessiert, verboten, verloren, überzeugt* がある。本稿でのレマの基準から別語としているが、TM では動詞にまとめられている可能性がある¹³⁾。

5.2. TM と『ポケット』

TM, 『ポケット』がカバーする語彙のうち、どちらのリストもカバーする語彙、一方のリストのみがカバーする語彙の割合は、表 7 の通りである。

11) たとえば、岩崎 (2012)、大藪 (2014, 2015)、黒田 (2016)。

12) 仁科 (1971:532)、大藪 (2015: 127) は、日常的に身近なものは頻度が低いことを指摘している。

13) 辞書は語、語義を網羅的に挙げようとするため、見出し語としている語形の範囲がわかりやすいが、頻度表では 1 つの見出し語に統合されている語形の範囲がよくわからないことがある。TM と JT でも基準が異なるようで、たとえば、JT には動詞 *leben* とは別に名詞 *Leben* があり、頻度も 220 位と上位であるが、TM には動詞 *leben* はあっても名詞 *Leben* はない。TM では、名詞 *Leben* は不定詞の名詞化として処理され、動詞 *leben* に統合されていると思われる。

表7：TM, 『ポケット』がカバーする語彙のうち共通する語彙の割合

Motive		TM	ポケット	Berliner Platz		TM	ポケット	Schritte		TM	ポケット
リストのレマ数		2,597		リストのレマ数		2,597		リストのレマ数		2,597	
異なり語数 3,661	一致数	1,699	1,815	異なり語数 3,828	一致数	1,576	1,646	異なり語数 3,851	一致数	1,656	1,716
	共通数	1,326			共通数	1,264			共通数	1,314	
	割合	65.42	73.06		割合	60.69	76.79		割合	63.77	76.57
一方のみ	数	269	447	一方のみ	数	312	382	一方のみ	数	342	402
	割合	15.83	24.63		割合	19.80	23.21		割合	20.65	23.43
DaF		TM	ポケット	Menschen		TM	ポケット	Passwort		TM	ポケット
リストのレマ数		2,597		リストのレマ数		2,597		リストのレマ数		2,597	
異なり語数 4,084	一致数	1,601	1,517	異なり語数 4,396	一致数	1,700	1,816	異なり語数 5,044	一致数	1,780	1,888
	共通数	1,216			共通数	1,350			共通数	1,385	
	割合	61.65	80.16		割合	65.46	74.34		割合	68.54	73.36
一方のみ	数	384	300	一方のみ	数	350	466	一方のみ	数	395	503
	割合	23.99	19.78		割合	20.59	25.66		割合	22.19	26.64

2つのリストに共通してみられる語彙の割合は、それぞれがカバーする語彙の約73～88%、一方のみにみられる語彙は約12～27%である。片方にしかない語彙の割合が『アポロン』の場合よりも大きい。

一方のリストのみがカバーする語の例をリスト3および4に挙げる。数が多いため、6つのテキストに共通する語に限定した。

リスト3：TMのみがカバーし、『ポケット』はカバーしない語

<名詞>

Aktivität, Alternative, Arbeitsplatz, Aussage, Bau, Begriff, Bereich, Besucher, Bildung, Kindheit, Service, Union, Weltkrieg, Werbung

<動詞>

ansprechen, aufbauen, ausdrücken, äußern, auswählen, beantworten, beenden, befinden, begeistern, begleiten, bereiten, beziehen, bilden, einführen, entspannen, ergänzen, festlegen, fliehen, formulieren, genießen, gleichen, herausfinden, kontrollieren, laden, reichen, streichen, umgehen, vergehen, zustimmen

<形容詞>

attraktiv, einige, erfolgreich, intensiv, speziell, üblich

<副詞>

bereits, später, wozu

リスト4：『ポケット』のみがカバーし、TMはカバーしない語

<名詞>

Abitur, Achtung, Altenheim, Angestellte, Anruf, Anzeige, Bewerbung, Fremdsprache, Freundschaft, Gemüse, Geschwister, Großmutter, Gruß, Hafen, Hobby, Käse, Kindergarten, Kleidung, Klima, Notiz, Obst, Party, Ratschlag, Reihenfolge, Rücksicht, Stein, Stress, Tipp, Überschrift, Vertrauen, Wörterbuch, Zettel

<動詞>

anstrengen, ärgern, aufräumen, ausfüllen, bedanken, bewerben, einkaufen, einschlafen, korrigieren, kündigen, probieren, regnen, reparieren, telefonieren

<形容詞>

fertig, gemütlich, höflich, kostenlos, langweilig, schade, schick, sympathisch

<副詞>

anfangs

リスト3には、名詞では Aktivität, Alternative, Aussage, Begriff, Bildung のような抽象的事物を表すものが大部分である。動詞の数がとくに多く、ausdrücken, äußern, auswählen, beantworten, beenden, begeistern 等、抽象的行為を表すものが大半を占める。

リスト4では、名詞が非常に多く、Gemüse, Käse, Obst のような食べ物、Altenheim, Hafen, Kindergarten のような施設、Geschwister, Großmutter のような親族名称等、身近な物事を表すものが多い。動詞も aufräumen, einkaufen, einschlafen, telefonieren のような日常的行為を表すものが目立つ。リスト3と比べると、リスト4にあるのは、全体として初級で学ぼうな基礎的とされる語である。

上掲の例では、辞書重要語彙の具体性・日常性に対して、TMの語彙の抽象性・書き言葉的傾向が『アポロン』との比較の場合よりも明確に出ている。語数を限定したために、高頻度であるが学習初期にはそれほど出てこないこのような語彙の割合がTMでは高くなり、カバー率に不利な影響を及ぼしたであろうことをみてとることができる。

6. 最後に

初級以後の頻度表の有効性について、中級教科書でのカバー率を算出し、2つの辞書重要語リストの値と比較することによって、みてきた。頻度表はのべ語数において頻度表らしい良好なカバー率を示すこともあったが、重要語リストと比べてとりたてて有効とは言えないようである。カバーする語彙も大部分重なるが、頻度表には学習上よく現れるような日常的・具体的事物を表す語彙にやはり欠ける面があることもみてとれた。学習語彙選定にあたっては、頻度

という科学的・客観的基準と、経験的・主観的ではあるかもしれないが教育的観点をどのように調和させ取り入れていくかが課題となると考える。

辞書 (末尾にあるのは本稿での略称)

- 兒玉彦一郎著『ドイツ語ポケット辞典』改訂版 研究社 2013年 第1刷 [ポケット]
根本道也他『アポロン独和辞典』第3版 同学社 2010年 第1刷 [アポロン]
根本道也他『アポロン独和辞典』第4版 同学社 2022年 第1刷

頻度表 (末尾にあるのは本稿での略称)

- Jones, R.L./Tschirner, E. (2006) *A Frequency Dictionary of German. Core Vocabulary for Learners.* London: Routledge. [JT]
Tschirner, E./Möhring, J. (2020) *A Frequency Dictionary of German. Core Vocabulary for Learners.* Second Edition. London: Routledge. [TM]

教科書 (末尾にあるのは本稿での略称)

- Albrecht/Fandrych/Grüßhaber u.a. (2014) *Passwort Deutsch 5. Kurs- und Übungsbuch.* Stuttgart: Ernst Klett Sprachen. [Passwort]
Braun/Doubek/Fügert u. a. (2016) *Kurs- und Übungsbuch. DaF kompakt neu B1.* Stuttgart: Ernst Klett Sprachen. [DaF]
Braun-Podeschwa/Habersack/Pude (2014) *Menschen. Deutsch als Fremdsprache. B1.1.* Kursbuch. München: Hueber Verlag. [Menschen]
Braun-Podeschwa/Habersack/Pude (2014) *Menschen. Deutsch als Fremdsprache. B1.2.* Kursbuch. München: Hueber Verlag. [Menschen]
Hilpert/Kerner/Orth-Chambah/Pude u.a. (2018) *Schritte International neu 5. Niveau B1/1. Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch und Arbeitsbuch.* München: Hueber Verlag. [Schritte]
Hilpert/Kerner/Pude/Robert u.a. (2018) *Schritte International neu 6. Niveau B1/2. Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch und Arbeitsbuch.* München: Hueber Verlag. [Schritte]
Kaufmann/Lemcke/Rohrmann u.a. (2017) *Berliner Platz 3 NEU. Deutsch im Alltag. Lehr- und Arbeitsbuch.* Stuttgart: Ernst Klett Sprachen. [Berliner Platz]
Krenn/Puchta (2016) *Motive. Kompaktkurs DaF. Kursbuch, Lektion 19-30. Deutsch als Fremdsprache.* München: Hueber Verlag. [Motive]

参考文献

- Nation, I.S.P. (2001) *Learning Vocabulary in Another Language.* Cambridge: Cambridge University Press.
Tschirner, E. (2005) Korpora, Häufigkeitslisten, Wortschatzerwerb. In: Heine, Antje u.a. (Hg.): *Deutsch als Fremdsprache.* München: Iudicium, 133-149.
Tschirner, E. (2019) Der rezeptive Wortschatzbedarf im Deutschen als Fremdsprache. In Peyer, Elisabeth

- u.a. (Hg.): *IDT 2017: Band 2: Hauptvorträge*. Berlin: Erich Schmidt, 98-111.
- 今道晴彦 (2009) 「ドイツ語教育における重要語彙選定の現状と課題」日本独文学会ドイツ語教育部会『ドイツ語教育』第 14 号, 40-47.
- 岩崎克己 (2012) 「日本の DaF におけるドイツ語基本語彙へのアプローチ」岡村三郎他編『ドイツ語基本語彙——辞書学的, 外国語教授法的観点から』日本独文学会研究叢書 88, 45-66.
- 大藪正彦 (2014) 「ドイツ語基本語彙リストの比較」日本独文学会中国四国支部『ドイツ文学論集』第 47 号, 47-61.
- 大藪正彦 (2015) 「日本人学習者のための, 頻度に基づくドイツ語基本単語 5000 ——概要, 検証, 展望」静岡大学人文社会科学部『人文論叢』66(1), 117-135.
- 黒田 廉 (2016) 「独和辞典の重要語指定と頻度」日本独文学会北陸支部『ドイツ語文化圏研究』第 13 号, 1-23.
- 仁科竹光他 (1971) 「教授用重要語彙の統計的選定」日本独文学会ドイツ語額委員会編『ドイツ語の基本的諸問題』南江堂, 231-534.